

ビヨンド2020 江戸城天守再建から、天守と本丸御殿等の復元検討に向けて
「江戸東京歴史文化ルネッサンス ビジョン5ヵ年基本計画（案）」の策定

お礼とご報告

2017(平成29)年10月
理事長 小竹直隆



新事業主体設立に至る経緯：

私達は、皇居東御苑に遺された台座の上に、江戸城天守を再建し日本を代表する歴史と伝統文化のシンボルをつくりたいと念願し、多くの市民、国民の賛同、支援の声を東京都と国に届けるべく、平成16年（2004年）民間の一市民団体として「江戸城再建を目指す会（理事長小竹直隆）」を創立致しました。それ以降、12年に亘りNPO市民運動として持続的な活動を展開して、現在に至っております。

平成26年（2014年）権威ある第三者機関の調査研究により、皇居東御苑での天守再建は、NPO法人では、不可能に近いと検証された経緯を踏まえて、平成27年並びに28年度の認定NPO法人「江戸城天守を再建する会」の通常総会において新事業主体・一般財団法人を設立し、公益財団法人を目指すことを決議致しました。一方、平成29年、前述のNPO法人は世論喚起を目的に存続を総会で決議致しました。

平成29年1月24日、一般財団法人「江戸城天守再建・歴史文化まちづくりルネッサンスの会」を、前述のNPO法人理事長小竹直隆他のNPO理事等により、清々粛々と創立致しました。

これまでの多くの市民、篤志家、学識者、CSR等の皆様からのご支援に深く感謝を申し上げますと共に、財団設立に当たりご支援ご協力を頂きましたこと、重ねて御礼を申し上げます。誠に有難うございました。

今、新たな分水嶺の時：

平成28年5月に発表された、「江戸城天守復元調査研究報告書（三浦正幸広島大学大学院教授）」並びに同年11月に策定された「基本構想・江戸城天守再建を中核とする歴史文化ランドデザイン（座長伊藤滋 東京大学名誉教授）」は、市民運動12年の集大成として、本年1月に設立された新事業主体・一般財団法人「江戸城天守再建・歴史文化まちづくりルネッサンスの会」に向けて提言され今日に至っております。この間、学識者等と天守復元の課題を通し、様々な観点から前述の基本構想を検証した結果、今、新たな分水嶺の時、を迎えております。

「江戸東京歴史文化ルネッサンス ビジョン・5ヵ年基本計画（案）（以下（ビジョン(案)とする)）」について：

江戸から東京へ変わりゆく旧江戸城と城下町周辺における歴史文化ルネッサンスの目指すべき近未来像とその実現に向け進めていく上での基本的な考え方や方向性を示し中長期に向けたビジョンを構想致しました。

（ビジョン(案)より）

ビジョン（案）は、ビジョンを実現するための施策を体系的に定めており、今後は、事業年度ごとの事業計画として、具体的施策をお示しする予定です。ビジョン（案）は、産学官民が広く社会一般において、ご議論して頂くための指針として策定したものです。

天守復元から江戸城ルネッサンス（再生・活用）への背景：

皇居東御苑の台座（国の特別史跡）に復元検討する天守は、江戸城建造物復元の中でも極めて難題であることに、加えて、天守復元だけでは、学識者を含めた広範囲な合意形成が難しいという事実が明らかになりました。（文化財保護法第43条現状変更の制限等）

江戸城址は、元来、世界遺産に十分に匹敵し得る歴史的、文化的遺産であると云われております。史跡内歴史的建造物の再建は、国際憲章（ベニス憲章）の厳しい条件付きの下で可能となっており、文化財等保護については、国内はもとより、国際的視野からも厳しい法的制約が課せられております。

即ち、旧江戸城及び城下町全体の一環として、江戸城天守を位置づけると共に、極めて肝要なことは、江戸城本丸御殿を含めた全体整備計画を構想し、始めて世界的な評価に応え得る、「今日的意義」の策定が可能となり、広範囲な合意形成に至るとの認識に至りました。

都市の品格を創造して行く：

世界に類を見ない傑出した歴史文化遺産の多くは潜在化し、現存する文化財は、四季折々の自然と豊かな水を湛えたる濠に囲まれ、雄大なスケールの城郭都市東京の歴史性は、今、失われつつあります。江戸から明治・東京へと四百年以上に亘り、移り変わりゆく都市東京の歴史的伝統と文化的個性により、新たな都市の品格を創造していく、まさに「今、その時が来た。」と云えるのではないかと存じます。

世界の首都は、歴史的文化的創造により競う時代に：

首都東京の都心部は、現在、世界の都市間競争にさらされております。訪日観光客が増大する一方で、都市東京は、世界5大都市の一つと云われながらも文化交流面で、大きく遅れを取ってきた現状があります。参照：世界の都市総合力ランキング（森記念財団）

私達の社会的使命：

私達は、「江戸東京歴史文化ルネッサンス」の国家的事業とそれを支える市民の交流・連携による国民的運動を進め、世界に発信する文化観光先進国・都市東京の近未来に寄与すべく、新たな分水嶺の下で、改めて、「江戸東京歴史文化ルネッサンス」事業及びまちづくり運動との共創による一体的発展を目指す観点からの社会的使命を認識するに至った次第であります。

皆さまには、どうか、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、一人でも多くの皆さまのご参加を、心よりお待ち申し上げます。

以上

（ビジョン（案）より）